

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

日本農業新聞

発行所 日本農業新聞
〒110-8722 東京都台東区秋葉原2番3号

©日本農業新聞2006

2006年（平成18年）

3 | 4

土曜日

ユビキタスで成果

農流研が報告会

農協流通研究所は3日、ユビキタス技術を活用した食の安全・安心システム開発事業の成果報告会を東京都内で開いた。農水省の補助事業の一環で、8つの実証団体が、農薬の適正使用や、食品の流通履歴での成果を報告した。

農薬適正使用ナビゲーションシステム研究会は、携帯電話を使った農薬履歴記帳を紹介。JA向けとして、部会の農薬基準などを登録しておけば、圃場（ほじょう）で

農薬使用の是非が分かる上、確認ボタンを押せばそのまま生産履歴が蓄積できると話した。先進農家グループ向けに適正農業規範（GAP）に対応したシステムも紹介した。

食品産業センターは、加工食品の情報システムを報告。原材料や原産地といった規格書の標準化や、電子荷札（ICタグ）の性能を確認した。

ユビキタスとは、操作なし、あるいは最小限の操作で、いつでも、どこでも情報やサービスの利用ができるコンピュータ技術のこと。